

女性現実研究所 資料『女性現実物語』

性科学・性医学・性関連技術調査研究報告コホート (ゾーン)

海外の共感覚検証実験や性被害の暴露療法の
日本 (の女性施設) における再現の試みとその問題点

まるで物語のような女性の現実に寄せて

初版：2004年1月23日

最終更新：2019年9月22日

～ 著者 ～

◆女性現実研究所 代表スタッフ (代表ウォッチャー、男女)

～ 編者 (女性からのご相談、ご投稿、情報提供の受付および本著の編集) ～

◆女性現実研究所 幹部女性スタッフ (幹部女性ウォッチャー) 一同

～ ご協力者 (代表および幹部女性スタッフ一同より厚く御礼申し上げます) ～

◆女性現実研究所 一般女性スタッフ (一般女性ウォッチャー) の皆様

(社会人女性スタッフ、主婦スタッフ、女子大学生スタッフ、女子高校生スタッフ)

◆女性現実研究所にご相談、ご投稿、情報提供して下さった全ての女性の皆様

(本著では、女性ご本人から公表のご希望やご許可を頂いた事例のみを取り上げておりますが、全ての女性にメール返信や面談などの個別対応を行っております。)

※ 本資料では、おもに女性たちが実施した性の話題に関する実験（共感覚とオーガズムの関係性を調査する実験など）を女性スタッフが記述、紹介しています。海外ではすでに、政府・自治体（州政府など）による支援や研究費の助成のもと、大学や研究所、女性施設などで集団実験（グループでのマスターベーション共感覚の実験など）が行われ、多数の論文が発表されています。

しかし日本では、刑法における「公然わいせつ」、迷惑防止条例における「ひわい」などの語の曖昧な定義や裁判での運用（判例）があり、大学や研究者が意図せぬ検挙を免れようとしたり、綺麗な名声を守ろうとしたりするため、今後も実施されず、学術的成果が蓄積されないものと予想されます。女現研では、このような事態は学術的損失であると考えています。

これについて、女現研最高代表・連携女子シェアハウス特別顧問である岩崎純一氏と行った議論、法的検証および実験を記載しています。これら以外の、女性研究者らによる岩崎氏に関する一般研究については、JAIのメインサイトの女性資料をご覧ください。

※ また、これまでに女性たちが岩崎氏に寄せてきた相談や体験談のうち、私たち女性スタッフが岩崎氏からのご依頼・ご要請とご相談女性のご許可を頂き、回答・面談を代行したり、女性寮で身柄を保護したり、ご入寮いただいたりした女性たちの相談や体験談を挙げています。

※ これら以外の（特に性の話題や特殊身体症状への言及をほとんど含まない）精神疾患・身体症状・行動障害などの解説や体験談は、現在も岩崎純一学術研究所のサイトの各資料に掲載されています。

目次

1. 女性名簿

- 1) 女性による岩崎純一氏についての一般研究と女性研究者の名簿
- 2) 女性の共感覚・心・体・性についてのご相談・体験談・質問を寄せている女性

2. 女性による共感覚実験や特殊身体症状の研究における課題

- 1) 概要
- 2) 海外で行われている共感覚実験のうち、日本では行うことができない実験
- 3) 岩崎純一氏との活動における私たちの課題

3. 私たち自身の心と体に関する実験・研究（岩崎純一氏などのご協力による）

- 1) 乳がん・子宮がん・卵巣がんの色が見えたり匂いがしたりする共感覚についての実験（女性スタッフ、寮生、美大の女子学生、ヌードモデル、その他の外部女性）
 - A) 実験概要・手法
 - I) ご参加下さった女性の皆様の写真
- 2) 私たち自身のオーガズム共感覚についての実験

(女性スタッフ、寮生、美大の女子学生、ヌードモデル、その他の外部女性)

ア) 実験概要・手法

イ) ご参加下さった女性の皆様の写真

ウ) 海外のオーガズム共感覚の研究 (おもに女性による研究) で分かっていること

エ) 海外のオーガズム共感覚の研究報告の例

3) PGAD・ReGS などの症例の記録と研究

4) 性に関する強迫儀式と暴露療法

5) 性に関するバーチャルリアリティー暴露療法

6) 汚言症・猥褻語多用癖 (コプロラリア・Coprolalia) と、短歌によるリハビリ

4. 岩崎氏や他の被験者男性についての私たちの実験・研究

1) 女性の排卵が見える岩崎氏や他の被験者男性の共感覚についての実験

ア) 実験概要・手法

イ) ご参加下さった女性の皆様の写真

2) 女性による岩崎純一氏についての一般研究と女性研究者の名簿

5. 私たちについての岩崎氏の実験・研究

1) 日本の共感覚者女性の初潮に関する研究

2) 自己意識の減失・解体・分裂などを特徴とする精神疾患女性に見られる鋭敏な共感覚について

1. 女性名簿

1) 女性による岩崎純一氏についての一般研究と女性研究者の名簿

女性専用スペース（女現研のサイト、シェアハウスの内部）では、おもに女性の性に関連する心・体の話題を扱っているわけですが、これ以外の分野での女性（女性スタッフ、寮生、外部女性）による研究は、すでに岩崎純一氏（女現研最高代表、連携シェアハウス特別顧問）が展開する岩崎純一学術研究所のトップサイト、女性自身のサイト、大学のサイトなどで取り上げられ、公開されている場合が多いです。博士論文・修士論文・卒業論文・評論の執筆、実験、岩崎氏の講演会の開催、岩崎氏の学術への協力などです。また、研究者リストも、岩崎氏のサイトに掲載されております。

どの女性も、岩崎氏の哲学・思想・世界観の全体に深い影響を受けた方々ばかりですが、研究内容は多種多様であり、性の話題を含む資料は、女性本人のご要望またはご許可により私たち女性局へ移管されております。

2) 女性の共感覚・心・体・性についてのご相談・体験談・質問を寄せている女性

ご相談内容のほとんどは、女現研の資料に載せています。女性たちの氏名は、岩崎氏が運営する岩崎純一学術研究所の女性局、または私たち女現研まで、個別にお問い合わせ下さい。

なお、以下は、本資料で紹介した岩崎氏についての実験のきっかけとなった、被験者の女性たちからのメールです。これらに後押しされ、私たちも実験を行うこととなりました。（ここのメールの閲覧は要申込となりました。）

2. 女性による共感覚実験や特殊身体症状の研究における課題

1) 概要

以下に、今のところ私たちが避けていたり、海外に渡航して参加している共感覚実験や、その他の課題などについて書いています。共感覚に限らず、性依存・性症状などの治療・リハビリにも、まったく同じ理由で日本と海外とで違いがあり、リハビリ、レクリエーションなどに書いています。

2) 海外で行われている共感覚実験のうち、日本では行うことができない実験

海外、特にアメリカ、イギリス、オランダなどでは、集団での共感覚オーガズム実験や、共感覚者どうしのセックスに見える色彩の実験、共感覚者によるヌード絵画の試みなど、実にさまざまな、日本では考えられない実験（やアート活動）が行われています。当初は、ポルノ女優やヌードモデルが呼ばれて実験やデッサンが行われていたようですが、最近では、女性の権利意識の向上もあり、一般の女性たちも自ら積極的に参加している状況です。

日本では、美大のヌードデッサンでさえ、ヌードモデル事務所にモデルのレンタル料金を支払い、モデルさんと呼んで実施しています。学生をモデルとすることはあまりありません。しかし、その現状を繰り返している限り、私たち女性自身こそが「日本の性産業に従事する女性の裸体」だけをお金に換算し、特殊な実験で扱い、芸術作品にしていることになってしまう、つまり、そのような女性たちを特別視して利用していることになります。

日本では行うことができない共感覚実験（やアート活動）には、いろいろありますが、大まかに言えば二つあります。「性的な集団実験」と「多くの欧米諸国では合法的な薬物（大麻など）に関する実験」です。

「性的な集団実験」については、実験の実施そのものと、実験の報告の両方が、日本では難しいです。これについては、私たちは「できなくて困っている」状況であり、「ある程度はできるようにしてほしい」と考えています。

なぜなら、まず実験の実施については、「公然わいせつ」の「わいせつ」の概念が欧米と日本とでは大きく違っているからです。日本では、異性どうしの場合、屋内であっても、三人以上が同じ室内で全裸になるだけで法解釈上は「公然わいせつ」が適用されるので、大学や研究機関が主催の共感覚オーガズム実験は不可能です。

それから、岩崎氏の女性の排卵感知共感覚を調べるため、岩崎氏や他の被験者男性の方々（着衣状態）に私たちの身体（着衣状態～全裸状態）を見ていただく実験についても、当事者以外の男性の入室禁止を掲げることができない共学の大学での共感覚実験施設では不可能ですので、私たちの女性寮だけで実施しています。

それに、日本では男女の裸に扱いの違いがあり、男性は裸で庭仕事や屋外歩行をしても無罪なのに、女性が同じことをすると公然わいせつ罪が適用されるなど、「女性の裸のほうが男性の裸よりも卑猥なもの」という法意識や倫理意識があります。これは、少なくとも私たち女現研・シェアハウス入居女性にとっては、とても悲しく悔しいことです。

特殊身体症状の解説に掲げる症状を持つ私たちとしては、法律のために学問の研究（特に、オーガズム共感覚や、共感覚にまつわる性症状を持つ女性どうしの報告）ができなくなるのはとても不満なので、なんとか工夫しています。例えば、各自の自宅や寮の個室でのオーガズム体験を、あとで寮の共用スペースに集まって報告し合ったり、異性を含まないうちで私たち女性だけで寮に集まって実験をし、岩崎氏や他の被験者男性の方々に報告させていただいたり、ご見学いただいたり、といった工夫です。

また、実験の報告が難しいというのは、日本では性器の部分だけは修正をかけなければ、人体の画像や写真を報告・譲渡・掲載できないからです。一方で、なぜか女性であっても、

肛門、陰毛、子宮口、乳頭、排泄物などは無修正でもわいせつとされず、コンビニ本でも写っています。女性の身体部位のうち、わいせつとされるのは、大陰唇、小陰唇、ヴァギナ、クリトリスです。まったくおかしな話だと私たちは考えています。児童ポルノが世界一はびこっている国なのに、大人の女性の陰唇がわいせつで肛門がわいせつでないという、よくわからない区別は、おかしな話だと思います。私たちは、「学術目的の女性器の写真は無修正可、違法な児童ポルノは撲滅」というのが、あるべき姿だと考えています。

このことについても、私たちはなんとか工夫しています。例えば、上記のような集団実験や特殊身体症状を岩崎氏や他の被験者男性の方々に報告するときは、なるべく寮までお越しただいて、口頭で詳しく行っています。ただし、説明にも限界があるので、その場合は性器部分を修正した写真をお渡ししたり、この女性専用スペースで写真を提供させていただいたりしています。

それから、薬物と共感覚の関係についてです。これを調べる(集団)実験については、私たちは、海外の実験報告を勉強すればよく、日本では「できなくてもかまわない」あるいは「無理にできるようにする必要はない」と考えています。

アメリカやイギリス、オランダなどにおける共感覚の研究では、一部の薬物(LSD、シロシビンなど)が共感覚を誘発することが報告されてきました。ただし、共感覚研究の中心地であり、薬物と共感覚の関係についての研究が最も進んでいるこれらの国々においても、多くの場合、違法薬物を摂取した者による偶然の共感覚体験や変性意識体験の報告(研究者による取材・伝聞)がもとになっているのであり、文字や音の色に関する集団実験と異なり、必ずしも薬物を摂取して(させて)みる集団実験が公に行われたわけではありません。

また、国ごとに法律で規制されている薬物が異なっており、大麻合法国や、(日本では規制対象となっている)一部の麻薬・危険ドラッグ(指定薬物)の合法国において可能な実験は、日本においては不可能です。従って、日本や他のアジア圏の法規制の厳しい国(中国、フィリピン、インドネシアなど)よりも、大麻・麻薬などに寛容なオランダなどにおいて、共感覚に関する多種多様な知見が得られ、共感覚保有者らのコミュニティが発達している現状があります。

さらに、脳神経系に直接作用する化学物質(カフェインなど)を含む合法的な食品についても、国や文化によってまったく嗜好や摂取量が異なっています。医療用途の覚せい剤(メチルフェニデートなど)についても、各国によって異なる法規制が敷かれています。

このように、「共感覚者」と呼ばれる人々の体験そのものが各国ごとに異なっているのであり、共感覚の研究によって得られる知見や見解にも当然違いが出ることに注意する必要があります。

日本においては、共感覚が生じるとの知見が海外でもほとんどない覚せい剤の使用の高齢化が進んでいる一方、共感覚を誘発する(共感覚を体験できる)との知見が多く見られる麻薬・危険ドラッグ・その他の指定薬物を使用する若者が増えています。インターネ

ットの発達により、海外の薬物と共感覚に関する研究から知識を得て、違法薬物に手を染める若者もいます。(危険ドラッグについては、危険性の啓蒙のため、2014年に「脱法ドラッグ」から改名されました。)

以上のような事情から、日本においては、岩崎氏を中心に、大学などにおける合法的な共感覚の集団実験に参加した有志の私たち共感覚者が協力し合い、麻薬・覚醒剤・危険ドラッグ・指定薬物等による共感覚の出現の知見の有無や、当該薬物の国際条約及び世界各国・日本国の法令等における扱いとの対応などを調査し、公開しています。

日本共感覚研究会(旧 日本共感覚関連動向調査会) (会長: 岩崎純一氏)

→ 現在は、さらに岩崎純一学術研究所の一部となっています。但し、共感覚セラピー等における性被害、洗脳、マインドコントロール問題については、女現研が扱い、女現研のサイトで資料を公開しています。

3) 岩崎純一氏との活動における私たちの課題

先ほども書きましたが、日本では、美大のヌードデッサンでさえ、ヌードモデル事務所にレンタル料金を支払い、モデルさんと呼んで実施しています。学生をモデルとすることはあまりありません。しかし、それでは、私たち女性自身こそが「日本の性産業に従事する女性の裸体」だけをお金に換算し、特殊な実験で扱い、芸術作品にしていることになってしまふ、つまり、そのような女性たちを特別視して利用していることとなります。

私たちも当初、私たち自身のオーガズム共感覚についての研究、PSAS・ReGSなどの症例の記録と研究、女性の排卵が見える岩崎氏や他の被験者男性の方々の共感覚についての実験を実施していただくとして、いくつかの大学(特に女子大学)に掛け合ったとき、なかなかよいご返事を頂けませんでした。やはり、美大のヌードデッサンと同じで、女子学生ではなく、ヌードモデル事務所やAV事務所(特に素人系)の女性の方々にお願いするのが早いということで、それはそれで実現しました。

しかし、岩崎氏から、「自分自身の身体について一般の女性とは異なる扱い方や管理の仕方をしている女性たち、自らの身体を同意のもとで商品化している女性たちだけを、共感覚実験の対象に用いても、それは非常に偏った実験で、一般の女性を正しく見ていることにはならない」という厳しいご指摘を頂くこととなりました。

また、「私(岩崎氏)自身は、日本社会がこういった女性たちの存在や権利を認める社会であるのはよいことだと思っているし、女性たち(女性寮)だけの生活内での行動や実験については私は何も言わないが、私が参加させていただく実験については、もっと厳密なものであってほしいと考えている。海外の共感覚実験とも、日本の美大のヌードデッサンとも異なるものを想定している」とのご要望を頂きました。

岩崎氏のご指摘は、私たちが本当は最初から抱いてきた、上のような心配や疑問と同じもので、もっともだと感じます。そもそも女性寮の旧スタッフが、岩崎氏に詳しく説明せずに、このような実験の場を女性寮に設け、岩崎氏にお越しいただいたことが、岩崎氏に対してとても失礼だったのではないかと予想します。

一方で、私たちの身体は、ヌードモデルさんのように一般男性に見てもらうことを目的としているわけではなく、あくまでも共感覚実験といった限られた場で特定の男性（岩崎氏や他の研究者・被験者男性の方々）に見てもらうことを目的としています。ここ10年間でみんな、岩崎氏や他の被験者男性の方々に信頼して、性の相談をしたり、共感覚実験への参加をお願いしているのであって、大学の男性の先生方や研究者の方々の誰でもにそれを許しているわけではありません。そのため、岩崎氏のサイト内に、私たちの希望が反映できる女性専用のスペースを設けていただくことと、実験のルールなどは私たちが設けさせていただくことを、岩崎氏や他の被験者男性の方々にお願ひさせていただきました。

今は、私たち女性スタッフをはじめ、寮生、美大の女子学生、ヌードモデル、外部女性の皆様がまんべんなく活動に参加していて、なんとか良い形になってきていると感じています。

3. 私たち自身の心と体に関する実験・研究（岩崎純一氏などのご協力による）

1) 乳がん・子宮がん・卵巣がんの色が見えたり匂いがしたりする共感覚についての実験（女性スタッフ、寮生、美大の女子学生、ヌードモデル、その他の外部女性）

ア) 実験概要・手法

岩崎氏や他の研究者・被験者男性の方々と、外部女性の皆様に女性寮までお越しいただき、共用スペースで実施しております。

性に関する共感覚については、アメリカやイギリス、オランダの共感覚研究ではすでに多くの実験が行われ、知識の蓄積も進んでいますが、ようやく私たちも、岩崎氏や他の研究者・被験者男性の方々と、外部女性の皆様のご協力を頂いて実験を実施できております。今のところ欧米でも、話題性があるためか、有名なシトウィック氏の実験・報告以来、オーガズムに色が見える共感覚の実験が多く、私たちもオーガズム共感覚の実験は行っていますが、女性の排卵が見える岩崎氏や他の被験者男性の方々の共感覚についての実験も行っています。

今までは、各女性たちが個別に大学の研究室や各施設の個室・暗室、喫茶店などで岩崎氏や共感覚女性にお会いする形でしか、排卵感知共感覚やがん感知共感覚を体験できませんでした。今は、岩崎氏や他の被験者男性の方々と、外部女性の皆様に私たちの寮までお

出でいただき、共用スペースで、入居女性や外部女性の皆様のいろいろな姿や状態を共感覚で見ていただく形をとることができており、感謝申し上げます。

【実験概要】

●参加者： 岩崎純一氏、他の被験者男性の方々、女性数十名（女性専用スペース運営部スタッフ、女性寮スタッフ、入居女性、美大の女子学生、ヌードモデル、その他の外部女性。特に私たちの特殊身体症状の解説に掲げる症状を持つ女性の皆様にご協力いただいております。）

●日時： 2011年8月22日から現在も年二回のペースで継続（メール報告は随時）

●場所： シェアハウス型特殊女性寮「コンフィデンシャル・レディース東京」
（女現研のシェアハウスの前身の一つ）

【実験手法】

◆共用スペースの角に設けたカーテン仕切りの個室に、岩崎氏と他の被験者男性の方々（女性の排卵・生理が感知できる）、女性のがんを時々言い当てた経験のある共感覚女性、対象の女性1人、女性スタッフ数名だけが入る。岩崎氏と他の被験者男性の方々、がんを言い当てる共感覚女性に、対象女性の着衣状態から全裸状態までのさまざまな姿・格好や状態を、さまざまな電気の明暗・気温・湿度の中で、共感覚で見たり聞いたりしていただき、どこまで排卵、生理、病理（乳ガン・子宮ガンなど）を検知できるかを確認する。対象女性に順番に入れ替わっていただき、確かめていく。

（すでに女性による岩崎純一氏についての一般研究で何度か実施・検証済みですが、改めて実施いたしました。）

◆共用スペースで、対象女性の皆様に一斉に着衣状態から全裸状態までさまざまな姿・格好や状態になっていただき、さまざまな環境条件の中で、岩崎氏や他の被験者男性の方々と、がんを言い当てる共感覚女性が同じ内容を検知できるかを確認する。

（アメリカ、イギリス、オランダなど欧米諸国ではすでに行われている手法でありながら、日本では難しいかと考えておりましたが、岩崎氏や他の被験者男性の方々、多くの女性の皆様のおかげで実施することができております。本当にありがとうございます。）

◆屋外において、着衣の状態でも岩崎氏や他の被験者男性の方々と比較的はっきりと身体現象を検知できる女性の皆様については、実際に岩崎氏や他の被験者男性の方々に共感覚でこれらの女性を見て絵を描いたり、和歌を詠んだり、作曲したりしていただき、医学的事実との比較検証を行う。

イ) ご参加下さった女性の皆様の写真

閲覧は要申込。

2) 私たち自身のオーガズム共感覚についての実験

(女性スタッフ、寮生、美大の女子学生、ヌードモデル、その他の外部女性)

ア) 実験概要・手法

岩崎氏や他の被験者男性の方々と、私たちの特殊身体症状の解説に掲げる症状を持つ女性の皆様にご協力いただき、自宅、寮の個室と共同スペースで実施しております。

オーガズムに色が見えたり音が聞こえたりするタイプの共感覚については、アメリカやイギリス、オランダの共感覚研究では、有名なシトーウィック氏の実験・報告以来、すでに多くの実験が行われ、知識の蓄積も進んでいますが、ようやく私たちも、岩崎氏や他の被験者男性の方々と、外部女性の皆様のご協力を頂いて実験を実施できております。

今までは、各女性たちが個別に、岩崎氏あてにメールしたり、大学の研究室や各施設の個室・暗室や喫茶店などで岩崎氏にお会いする形でしか、岩崎氏に私たちのオーガズムの状況を報告できませんでした。今は、岩崎氏や他の被験者男性の方々と、外部女性の皆様に私たちの寮までお出でいただき、共用スペースで、入居女性や外部女性の皆様のいろいろなオーガズムの共感覚をご報告させていただくことができ、感謝申し上げます。

海外の研究では、共感覚者は一般の五感の人間よりも強烈なオーガズムを感じるということが実験で何度も確認されている現状があり、本人のとらえ方によって、そのような強いオーガズムが性体験を豊かにすると、社会生活に不適應な状況を生むとも分析されています。私たちの中にも、性被害、性依存、性症状などさまざまな状況の女性たちがおりますので、自分たちのオーガズムとまじめに向き合いたいと考えております。

【実験概要】

●参加者： 岩崎純一氏、他の被験者男性の方々、女性数十名（女性専用スペース運営部スタッフ、女性寮スタッフ、入居女性、美大の女子学生、ヌードモデル、その他の外部女性。特に私たちの特殊身体症状の解説に掲げる症状を持つ女性の皆様にご協力いただいております。）

●日時： 2011年8月22日から現在も年二回のペースで継続（メール報告は随時）

●場所： シェアハウス型特殊女性寮「コンフィデンシャル・レディーズ東京」
(女現研のシェアハウスの前身の一つ)

【実験手法】

◆参加女性たちは、まずリハビリ、レクリエーションをお読みいただき、未経験のオーガズムも含め、女性にしかないさまざまなオーガズムの種類を勉強しておく。そして、ご自宅や寮の個室で、日々のオーガズム共感覚（オーガズムの色や音、匂い、味、質感など）と、それがどこの部位へのどんな刺激で生じたどの種類のオーガズムかを、日記などに記

録しておく。ただし、条件をそろえていただくため、相手の意志や動作の影響を受けるセックスなどによるオーガズムは避けていただき、自分一人でのマスターベーションによるオーガズムのみを記録していただく。

(アメリカ、イギリス、オランダなど欧米諸国ではすでに行われている手法でありながら、日本では難しいかと考えておりましたが、多くの女性の皆様のおかげで実施することができております。本当にありがとうございます。)

◆共用スペースで、それぞれのオーガズム共感覚を報告し議論し合う。共用スペースでは、あくまでも希望女性のみ、着衣状態から全裸状態までさまざまな姿・格好や状態でマスターベーションしていただき、その前後で女性の排卵が見える共感覚についての実験で示した岩崎氏や他の被験者男性の方々の検知の精度に影響が出るかを確かめていただく。

(アメリカ、イギリス、オランダなど欧米諸国ではすでに行われている手法でありながら、日本では難しいかと考えておりましたが、岩崎氏や他の被験者男性の方々と多くの女性の皆様のおかげで実施することができております。本当にありがとうございます。)

◆屋外において、着衣の状態でも岩崎氏や他の被験者男性の方々が比較的是っきりと身体現象を検知できる女性の皆様については、実際に岩崎氏や他の被験者男性の方々に共感覚でこれらの女性を見て絵を描いたり、和歌を詠んだり、作曲したりしていただき、医学的事実との比較検証を行う。

イ) ご参加下さった女性の皆様の写真

閲覧は要申込。

ウ) 海外のオーガズム共感覚の研究 (おもに女性による研究) で分かっていること

* 共感覚者の女性のオーガズムは、一般の五感の女性のオーガズムよりも強く、脳全体が反応している。クリトリス、G スポット、ポルチオなど、部位を問わない。

* 共感覚者の女性は、性器自体の性的反応・感度 (脳全体への伝達能力) も、一般女性より高い。

* 共感覚者の女性は、さまざまな手法、体位、道具でオーガズムを味わい、豊かな性生活を送る傾向にある。

(これについては、私たちは、共感覚や五感の豊かさから来る性的創造力の豊かさの結果だと思えます。ですので逆に、豊かすぎる性的創造力に悩んで、人に相談できていない共感覚女性も多いと思えます。)

エ) 海外のオーガズム共感覚の研究報告の例

- [WTF is orgasm synesthesia and could you have it?](#)
- [What Is Orgasm Synesthesia? Meet the People Who See Colors When They Orgasm](#)
- [What Is Sex Like for Someone with Synesthesia?](#)
- [When orgasm triggers a light show - The first ever study of synaesthetic sex](#)
- [Four nerve and six pathway theory of female orgasm.](#)
- [Seeing synaesthetic stars during sex](#)
- [Synaesthesia and sexuality: the influence of synaesthetic perceptions on sexual experience](#)
- [Synesthesia](#)

3) PGAD・ReGSなどの症例の記録と研究

これら私たちの特殊身体症状の解説資料（別掲）の下方に掲載しています。

4) 性に関する強迫儀式と暴露療法

PGAD・ReGSのリハビリ教本（別掲）に掲載しています。

5) 性に関するバーチャルリアリティー暴露療法

PGAD・ReGSのリハビリ教本（別掲）に掲載しています。

6) 汚言症・猥褻語多用癖（コプロラリア・Coprolalia）と、短歌によるリハビリ

性的言動の解説（別掲）に掲載しています。

4. 岩崎氏や他の被験者男性についての私たちの実験・研究

1) 女性の排卵が見える岩崎氏や他の被験者男性の共感覚についての実験

ア) 実験概要・手法

岩崎氏や他の被験者男性の方々と、外部女性の皆様に女性寮までお越しいただき、共用スペースで実施しております。

性に関する共感覚については、アメリカやイギリス、オランダの共感覚研究ではすでに多くの実験が行われ、知識の蓄積も進んでいますが、ようやく私たちも、岩崎氏や他の被験者男性の方々と、外部女性の皆様のご協力を頂いて実験を実施できております。今のところ欧米でも、話題性があるためか、有名なシトーウィック氏の実験・報告以来、オーガズムに色が見える共感覚の実験が多く、私たちもオーガズム共感覚の実験は行っていますが、女性の排卵が見える岩崎氏や他の被験者男性の方々の共感覚についての実験も行っています。

今までは、各女性たちが個別に大学の研究室や各施設の個室・暗室、喫茶店などで岩崎氏や他の被験者男性の方々にお会いする形でしか、排卵感知共感覚を体験できませんでした。今は、岩崎氏や他の被験者男性の方々と、外部女性の皆様に私たちの寮までお出でいただき、共用スペースで、岩崎氏や他の被験者男性の方々に入居女性や外部女性の皆様のいろいろな姿や状態を共感覚で見えていただく形をとることができており、感謝申し上げます。

【実験概要】

- 参加者： 岩崎純一氏、他の被験者男性の方々、女性数十名（女性専用スペース運営部スタッフ、女性寮スタッフ、入居女性、美大の女子学生、ヌードモデル、その他の外部女性）
- 日時： 2011年8月22日から現在も年二回のペースで継続
- 場所： シェアハウス型特殊女性寮「コンフィデンシャル・レディース東京」
(女現研のシェアハウスの前身の一つ)

【実験手法】

◆共用スペースの角に設けたカーテン仕切りの個室に、岩崎氏と他の被験者男性の方々、対象の女性1人、女性スタッフ数名だけが入る。岩崎氏と他の被験者男性の方々に、対象女性の着衣状態から全裸状態までのさまざまな姿・格好や状態を、さまざまな電気の明暗・気温・湿度の中で、共感覚で見たり聞いたりしていただき、どこまで排卵、生理、病理（乳ガン・子宮ガンなど）を検知できるかを確かめる。対象女性に順番に入れ替わっていただき、確かめていく。

(すでに女性による岩崎純一氏についての一般研究で何度か実施・検証済みですが、改めて実施いたしました。)

◆共用スペースで、対象女性の皆様に一斉に着衣状態から全裸状態までさまざまな姿・格好や状態になっていただき、さまざまな環境条件の中で、岩崎氏と他の被験者男性の方々が同じ内容を検知できるかを確かめる。

(アメリカ、イギリス、オランダなど欧米諸国ではすでに行われている手法でありながら、日本では難しいかと考えておりましたが、岩崎氏や他の被験者男性の方々と、多くの女性の皆様のおかげで実施することができております。本当にありがとうございます。)

◆屋外において、着衣の状態でも岩崎氏や他の被験者男性の方々が比較的是っきりと身体現象を検知できる女性の皆様については、実際に岩崎氏に共感覚でこれらの女性を見て絵を描いたり、和歌を詠んだり、作曲したりしていただき、医学的事実との比較検証を行う。

イ) ご参加下さった女性の皆様の写真

閲覧は要申込。

2) 女性による岩崎純一氏についての一般研究と女性研究者の名簿

前掲の通り。

5. 私たちについての岩崎氏の実験・研究

1) 日本の共感覚者女性の初潮に関する研究

『岩崎純一全集』収録。私たち女性スタッフ、寮生、外部女性が協力させていただきました。

2) 自己意識の減失・解体・分裂などを特徴とする精神疾患女性に見られる鋭敏な共感覚について

『岩崎純一全集』収録。私たち女性スタッフ、寮生、外部女性が協力させていただきました。